

「競輪事業の今後のあり方」に関する先進事例の調査状況

令和元年 12 月 9 日

	川崎競輪場	小倉競輪場
調査日時	令和元年 10 月 30 日 建設経済常任委員会にて川崎市職員を参考人として説明を受けた。	令和元年 11 月 6 日 北九州市にて行政視察を実施し、民間包括委託について説明を受けた。
委託方針	- 平成 29 年 1 月に民間包括委託を開始。 - 隣接する公園の再整備に伴い改修工事を実施。 - 施設のコンパクト化と市民の多目的利用を推進。 - 委託料は車券売上金額に対する定率制とした。	- 平成 18 年から民間包括委託を開始。 - 委託業務には、警備・清掃等の管理運営業務のほか、イベント開催やバス送迎などファンサービス等も含む。 - メディアドームの貸館業務も受託者が各種調整をする。
受託事業者	- 投票機器の保守運営をする富士通関連会社が受託。 - サッカーチームやその他スポーツチームも運営。 - 地元企業としてのネットワークを生かしている。	(公財) J K A が受託している。 - 発券業務を行う会社等と J V を組んでおり、車券販売等の機械化を促進し、業務の効率化を図った。
施設改修	- 前売り場の移設、観客席のコンパクト化を実施。 - 投票所を閉鎖してイベントスペースとして活用。 - 新しい耐震基準に合わせて耐震工事を実施した。	- ドーム型の大型施設のため、維持管理費が莫大である。 - 施設営繕（200 万円以下）は受託者が対応する。 - L E D 化など長期的な大規模改修は市が負担している。
人員体制	- 発券業務は機械化を推進することで人員削減。 - 複数業務をまとめて委託することで、同じ従事員が清掃と窓口業務など複数業務を担う。	- 委託により正規職員 10 人程度が削減できた。 - 市が雇用していた従事員は、委託先からの再委託となったため、人件費削減効果により委託当初から黒字化。
周知広報	- 受託者が S N S やアプリの活用、動画配信を実施。 - 来場者分析をして電車広告からバス広告へ変更。 - 音楽ライブやスポーツイベント等を開催。 - ファミリー向けに観戦会や車券の買い方講座も。	- 受託者が、競輪の生中継や動画配信を行っている。 - 保育園や企業の運動会等に有料で貸館をしている。 - 開催日の来場者数は減少傾向で 300 人程の時もある。
その他	- 受託者の活動を把握するため定例会議を開催。 - 市内業者への優先発注に目標値を設定している。 - 広域からファンが来る小田原競輪場の存続希望。	- ネット販売が主流で、ミッドナイト競輪の売上が高い。 - ガールズケイリンは大口の投票が見込まれる。 - モーニング競輪の開催は今のところ考えていない。

これまでの質疑に関する論点整理（抜粋）

1. 民間包括委託について

- ・ 令和2年度から民間包括委託を実施する（試行期間2年）。
- ・ これまで業務ごとに委託していた内容を統合することで、業務の効率化を図る。

2. 人員体制について

- ・ 試行期間であるため、導入当初は正規職員数を現状のままスタートする予定。
- ・ 同様に、試行期間中については、従事員は市の直接雇用を継続する。

3. 施設改修

- ・ 令和2年度に出る所要の調査結果により、必要な改修工事等の費用を把握する。
- ・ これまでも、来場者数の状況に鑑みながら、投票所の閉鎖等を実施してきた。
- ・ 立地や周辺環境により照明設備の設置が困難であるため、ナイター開催は考えていない。

4. 開催業務

- ・ インターネット販売の売上は伸びており、全国的に競輪場への来場者数は減少傾向にある。
- ・ ミッドナイト競輪は全国的に売上が高く、場内に来場者がいないため警備・清掃等の費用が少ない。
- ・ ガールズケイリンについては、小田原競輪場内には女子更衣室等の対応できる施設がない。

5. 民間ノウハウの活用

- ・ 12月のプロポーザルにて業者から提案があるが、募集要項では経費削減についての提案などを求めている。

6. その他

- ・ 小田原競輪場では、競輪開催に合わせて各種イベント等も開催している。
- ・ 小田原競輪場は、飲食ブースが充実している。
- ・ 静岡方面や小田急沿線から訪れる競輪ファンが他場の車券購入もすることで、他の競輪場の売上にも貢献している。